

# TETSU

# YURINA

途切れた先の美—— 終わらなかつた傑作を聴く！

2026  
**8.9**  
SUN

OPEN 13:30  
START 14:00

終わらなかつた傑作を聴く！

豊洲シビックセンターホール

・有楽町線  
・ゆりかもめ  
豊洲駅  
徒歩1分

未完は、未完のままに。

## PROGRAM

※曲目・曲順は変更となる場合がございます。

シューマン	《森の情景》作品 82 より 〈森の入口〉 〈予言の鳥〉
オーンスタイン	《森の朝》
ラヴェル	《鏡》
	〈蛾〉 〈悲しい鳥たち〉 〈海原の小舟〉 〈道化師の朝の歌〉 〈鐘の谷〉
リスト	《灰色の雲》 S.199
シューベルト	ピアノ・ソナタ第 15 番 ハ長調 D840 《レリーク》 (全 4 楽章)

©AyaneShindo

# 鐵百合奈

ピアノリサイタル

未完という永遠——

シューベルト 《レリーク》 の彼方へ

## TICKET

全席指定

※学生席は teket,主催のみでのお取り扱いです。※未就学児のご入場はご遠慮願います。

一般 4,500円 学生 2,500円

3月28日(土)  
10時販売開始

【teket】

【チケットぴあ】

【DUCK KEN】



Pコード: 324-064

【主催】 DUCK KEN お問合せ先 :090-6304-4476 hommasama@gmail.com

【後援】 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)

【協賛】 ファツィオリジャパン株式会社

FAZIOLI

森は異世界への入り口。そこに差し込む影と光が像を結び、  
像は鏡の奥で揺らぎ、輪郭はほどけ、やがて色彩は灰へと静かに退いてゆき——  
その先に、シューベルトの色彩が現れます。  
シューベルトの未完の作品は、ときに完成された作品以上に、深い余韻を残します。  
ピアノ・ソナタ第15番《レリーク》に刻まれた断絶は、  
音楽を閉じるのではなく、むしろその先へと聴く耳をひらいてゆきます。  
終わらなかったからこそ生まれる美、その静かな永遠をお聴きください。



## PROFILE

### 鐵百合奈 Yurina Tetsu

公式サイト <https://tetsu-yurina-piano.com/>

2019年、N&Fよりデビュー CD「シューマン：ピアノ・ソナタ3番 プラームス：左手のためのシャコンヌ」をリリース。「レコード芸術」で準特選盤、毎日新聞で特薦盤となる。2021年には2枚目のCD「シューマン：ピアノ・ソナタ2番, 1番」が、「レコード芸術」で準特選盤、毎日新聞で特薦盤、「音楽現代」などで推薦盤となる。2019年からベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏シリーズを「美竹清花さろん（現・渋谷美竹サロン）」で開催、NHKからドキュメンタリーが放映される。並行してソナタ全曲録音を行い、2022年3月に《ベートーヴェン ピアノ・ソナタ全曲集上巻》(CD5枚組)が発売、2023年3月に同下巻が発売され、上下巻ともに「レコード芸術」で特選盤となる。多くのリサイタルを開くほか、読売日本交響楽団、東京交響楽団、広島交響楽団などオーケストラとの共

演も多い。三井住友海上文化財団の派遣アーティストとしても全国各地で演奏活動を行っている。第86回日本音楽コンクール第2位、岩谷賞（聴衆賞）、三宅賞。第4回高松国際ピアノコンクール 審議員特別賞。第20回日本クラシック音楽コンクール高校の部第1位、グランプリ。第11回大阪国際音楽コンクール、第14回ローゼンストック国際ピアノコンクール、各第1位。2015年、皇居内桃華楽堂において御前演奏を行う。2017年度香川県文化芸術新人賞。ヤマハ音楽振興会、よんでん文化振興財団、岩谷時子 Foundation for Youth、宗次エンジェル基金より、奨学金の助成を受ける。学術面では、論文「『ソナタ形式』からの解放」で第4回柴田南雄音楽評論賞（本賞）を受賞、翌年「演奏の復権：『分析』から音楽を取り戻す」で第5回同本賞を連続受賞。東京藝術大学附属音楽高等学校、同大、同修士課程、同博士後期課程を修了、論文「演奏解釈の流行と盛衰、繰り返される『読み直し』：18世紀から現在に至るベートーヴェン受容の変遷を踏まえて」で博士号を取得。2020~2023年、桐朋学園大学院大学専任講師。2026年、横浜国立大学非常勤講師。藍インターナショナル音楽事務所所属。



©AyaneShindo

# FAZIOLI

過去に目を向け、現在に集中し、未来を夢見る

ファツィオリジャパン株式会社  
[www.fazioli.co.jp](http://www.fazioli.co.jp)

